

平成二十四年度

小学校 第五学年 国語調査票

組		出席番号		氏名	
---	--	------	--	----	--

注 意

- 一 放送による合図があるまで、中を開かないでください。
- 二 先生の指示しじがあつたら、最初に、組、出席番号、氏名を書いてください。
- 三 答えは、それぞれの の中、または問題で指示された場所に、はっきりと書いてください。

これから、放送を聞いて答える問題を行います。問題用紙を開いてください。大事な事をメモしながら聞きましょう。

広島小学校では、毎年、各クラスの様子を、「クラス紹介」と題して、校内放送しています。今日は、学級委員を集めた会で、放送委員会から、「クラス紹介」についての説明が行われます。あなたは、五年生の学級委員のつもりで説明を聞きましょう。説明は二回繰り返します。それでは、始めます。

放送委員会からお知らせがあります。

今年も、「クラス紹介」の放送を行うことになりました。それでは、今から、「クラス紹介」をする目的、放送の日時、紹介の原稿を書く時の注意点、原稿を提出する日の四つについて説明します。

まず、「クラス紹介」をする目的についてです。クラス紹介をする目的は、「自分のクラスのことを紹介しあうこと」によって、お互いのクラスについて、もっとよく知ること」です。

次に、放送の日時について説明します。「クラス紹介」の放送は、一年生と六年生が、七月三日、二年生と五年生が、七月四日、三年生と四年生が、七月五日です。いずれも、午後一時から放送する予定です。

続いて、「クラス紹介」の原稿を書く時の注意点です。原稿は八百字以内にとめてください。それから、必ずクラスの目標を入れてください。

以上で、「クラス紹介」の放送についての説明を終わります。クラスに帰って、みなさんと紹介する内容について、しっかり話し合ってください。クラスのおさが伝わる紹介ができるといいですね。

これで、放送委員会からのお知らせを終わります。

もう一回繰り返します。メモしたことを確かめながら聞きましょう。

（放送の繰り返し）

それでは、これから問題を三つ出します。よく聞いて、答えを解答らんに書きましょう。問題はそれぞれ二回ずつ繰り返します。

1 五年生の「クラス紹介」の放送の日時は、何月何日の何時からですか。ア～エの中から一つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

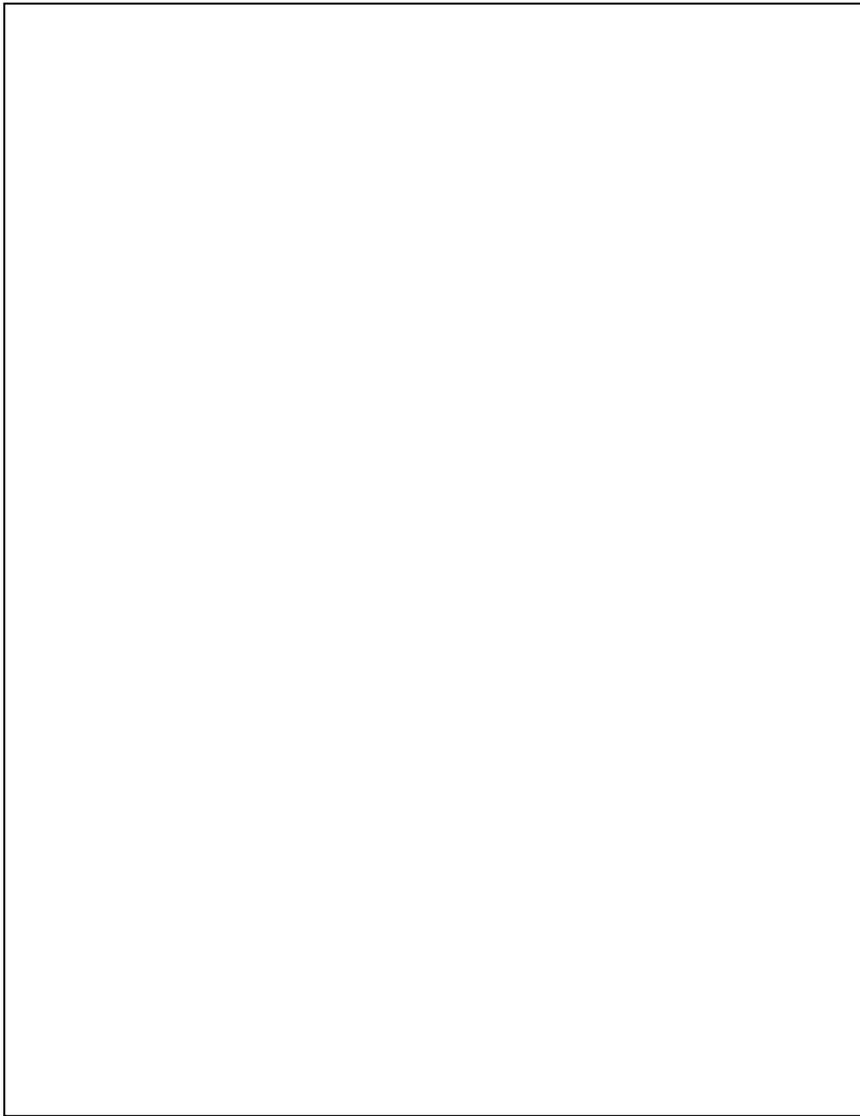
2 「クラス紹介」の原稿を書く時の注意点は二つあります。注意点の一つは、原稿は八百字以内にまとめることです。もう一つの注意点は何か。書きましょう。

3 「クラス紹介」の放送について、放送委員会が説明し忘れていることがあります。それは何ですか。書きましょう。

これで放送を聞いて答える問題を終わります。引き続き、調査票の問題を行ってください。

一 放送を聞いて答える問題

【メモ】



【解答らん】
かいとう

1 ア 七月三日 午後一時

イ 七月三日 午後四時

ウ 七月四日 午後一時

エ 七月四日 午後四時



2



3



二 次の1～6に答えましょう。

1 次の①・②の——部の漢字の読みがなをひらがなで書きましょう。

① 幸運 にめぐまれる。

② 良心 がとがめるようなことをしない。

2 次の①の——部のカタカナを漢字で書きましょう。

また、②の——部の漢字はまちがっています。②の——部の漢字を正しい漢字に直しましょう。

① ボールを 卍 げる。

② 工場の機会が、急にこわれた。

3 次の□には、同じ漢字が入ります。その漢字一字を書きましょう。

弱

・

最

・

力

・

勉

4 次の文の 入れました に対する主語はどれですか。次のア～エの中から一つ選
び、その記号を の中に書きましょう。

ア わたしは
イ 友だちの
ウ 本を
エ ロッカーに
入れました。

5 次の①・②に答えましょう。

① 次のローマ字をひらがなで
書きましょう。

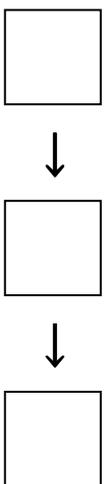
ringo

② 次のひらがなをローマ字で
書きましょう。

は な み
.....
.....
.....
.....

6 次のア～ウの言葉を、国語辞典で調べます。国語辞典では、どのような順番で出
てくるでしょうか。正しい順番に並べて、記号を の中に書きましょう。

- ア せかい
- イ せいとん
- ウ せいでんき



三 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

「これまでのあらすじ」

「あや」は、夏休みをいなかのおばあちゃんの家ですごすことになり、ある日の夕方、地元に住む一つ年下のおさななじみ、健太けんたの家にとまりに行った。

健太のうちは、お父さんが漁師りょうしで、お母さんが機織はたおっています。家は、河口かこうふきんにあって、うしろが船つき場になっています。

家とくつついている作業場で、おばさんが機織はたおっているのです、声をかけても聞こえません。うら手にまわってみると、おじさんが、納屋なやの前であみの手入れをしました。子どもずきのおじさんは、あやを見ると、顔をほころばせて、手まねきをしました。

「よく来てくれた。健太なら、その勝手口かってぐちを入ったところにおるよ。」

勝手口を入ると、健太は、しゃがみこんで、ふろを炊たいていました。火のとおりが悪いらしく、しきりに火ばしでまきをつついています。

健太の家も、おばあちゃんの家のように、台所はプロパンガスですが、ふろはまきでした。まきでふろを炊くのはたいへんです。まきは、きむずかしくて、さつさと燃もえてくれないし、くすぶって、家じゅうがけむりだらけになることがあるからです。それを、健太が、やすやすとやっていたのでした！ あやが、これだけはとてもできないと思っていたことを、です。健太が、急に大きく見えてきました。

健太は、火のいきおいがよくなったので、立ちあがりました。

①「今夜は、カレーなんだ。あやちゃんも手つだつてよ。」

胸むねがドキッと鳴りました。あやは、今まで、ろくに包丁ほうちやうをにぎったことがないので、用事のあるふりをして、今のうちに帰ろうかしら。

健太は、てきぱきと体を動かして、タマネギとジャガイモとニンジンを用意し、流し台に、まな板と包丁をならべました。

お母さん助けて、とあやはうめきました。わたし、お料理なんかできない！ だつて、まだ小さい子どもなんだから、指を切りおとしちゃうかもしれないわ。

あやは、包丁をにぎって、ジャガイモの皮をむき、さいの目に切りました。すると……、思ったよりかんたんでした！ うれしいことに、少し自信もついできました。その調子、その調子と自分をはげましながら、玉ネギとニンジンも切りました。健太が、それを肉といっしょにいためました。とてもなれた手つきで、楽しそうです。

ジージー、ジャージャーといふなべの音を聞いていると、あやも、やってみたく^②
てたまらなくなりました。

(安江生代 「海からの手紙」による。)

(注) 機を織る^①きかいで布などを作る

納屋^②物おき小屋

勝手口^③台所の出入り口

1 胸がドキッと鳴りました。^①とありますが、それはどうしてでしょうか。次のア～エの中からもつともふさわしいものを選び、その記号をの中に書きましょう。

ア 夕食のメニューが、自分が好きなカレーだと言われてうれしかったから。

イ 健太と二人だけで包丁をにぎってカレーを作るのが楽しみだったから。

ウ ふろを炊くまきの火が、いきおいよく燃えはじめてこわくなったから。

エ 料理なんかできないのに、手つだつてと言われてあわてたから。

2 文章中のには、どのような言葉が入るでしょうか。次のア～エの中からもつともふさわしいものを選び、その記号をの中に書きましょう。

ア はりきって

イ おそろおそろ

ウ かるがると

エ てきぱきと

3 やってみたくてたまらなくなりました。^②とありますが、あやが、このように思ったのはなぜでしょうか。の中に書きましょう。

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

(文章中の〔一〕から〔九〕は段落の番号です。)

〔一〕 店で買ったトマトやさんまを、そのまま置いておいたら、どうなるでしょう。くさって、食べられなくなってしまいましたね。

〔二〕 、トマトやさんまをかんづめにする、長い間くさることがありません。かんを開けなければ、三年くらいはおいしく食べることができます。食べ物を、長い間おいしくほぞんできるということは、かんづめの特長の一つです。

〔三〕 かんづめが長い間くさらないのは、かんづめの中に、物をくさらせる細きんがいなからです。

〔四〕 まず、材料に付いているよごれなどをあらって、きれいにします。皮や種など、食べられないところは取りのぞきます。肉や魚など調理が必要なものは、むしたり、焼いたり、にたりします。それから、かんにつめて、塩や油、味付けの液えきなどを、いっしょに入れます。

〔五〕 次に、かんの中の空気をぬいて、すき間ができないように、しっかりと固くふたをします。

〔六〕 そして、かんのまま、外から熱めます。野菜や肉、魚などのかんづめは、百度以上の温度で、時間をかけて熱めます。果物くだもののかんづめは、果物本来の味やかおりをたもつために、温度を百度以下にして、短い時間、熱めます。

〔七〕 最後に水でかんづめを冷やせば、できあがりです。

〔八〕 食べ物がくさる原因げんいんは、おもに細きんです。細きんはとても小さいので、目で見ることはできません。でも、空気中に飛んでいたり、わたしたちの手や洋服、つくえやかばんなど、あちらこちらに付いています。からだの中に、すみついているものもあります。このような細きんの中に、食べ物をくさらせる細きんがいるのです。

〔九〕 かんづめを作るときに、しっかりとふたをするのは、細きんがかんの中に入らないようにするためです。そして、かんを熱するのは、中の細きんを殺して活動を止めるためです。このような作り方することで、かんづめの中は、細きんがいなじょうたいになります。だから、かんづめの中の食べ物は、長い間くさらないのです。

1 文章中の には、どのような言葉が入りますか。次のア～エの中からも
つともふさわしいものを選び、その記号を の中に書きましょう。

- ア ところが
- イ なぜなら
- ウ つまり
- エ さらに

2 次の の文は、 段落から 段落のいずれかの段落のうしろに入ります。あてはまる段落の番号を の中に書きましょう。

段落のうしろに入ります。

多くのかんづめは、次のようにして作られます。

3 次の の文は、「さんまのかんづめ」の作り方についてまとめたもの
の一部です。 と に入るもっともふさわしい言葉を、文章中か
らぬき出して書きましょう。

かんの空気をぬいて、しっかりとふたをしたり、

の温度で熱したりすることで、かんの中の

がない

じょうたいにする。

五 田中つよしさんが通っている青空小学校では、七月五日（木曜日）の午後一時から、体育館で音楽発表会をします。

その音楽発表会に、毎日、登校中に安全を見守ってください。「交通安全ボランティア」の方々をしようたいすることになりました。

つよしさんは、交通安全ボランティアをしてくださっている山田さんを、しようたいする手紙を書くために、次のような下書きをしました。

下書き

山田さん、こんにちは。

青空小学校の音楽発表会を、七月五日の木曜日に、場所は、青空小学校の体育館で、午後一時からする。

ぼくたち五年生は、リコーダーのえんそうをする。毎日リコーダーの練習⑦をしているので、低い音がきれいに出せるようになってきたので、山田さんにぜひ聞いてほしい。

田中 つよし

この後、国語の時間に、人をしようたいする手紙の書き方を学んだつよしさんは、次のように書き直しました。

清書

山田様

こんにちは。

ぼくは、青空小学校五年の田中つよしです。いつも、ぼくたちの安全を見守ってください、ありがとうございます。

青空小学校の音楽発表会を次のようにすることになりましたので、ぜひおこしくください。

○ 日 時 七月五日 木曜日 午後一時から
○ 場 所 青空小学校 体育館

ぼくたち五年生は、リコーダーのえんそうをします。

イ

では、お会いできることを楽しみにお待ちしております。

田中 つよし

1 国語の時間に、人をしようたいする手紙の書き方を学んだつよしさんは、どのようなことに注意して下書きを直したのでしょうか。次のア～エの中から、あてはまらないものを一つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

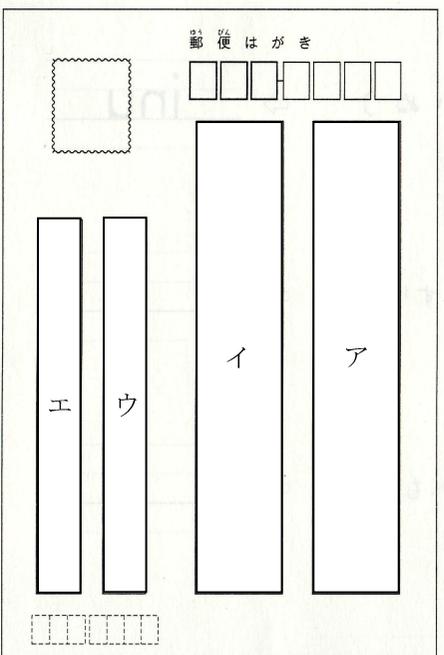
- ア 文の終わりを「です」「ます」で、ていねいに書いていること。
- イ 日時と場所を、整理して、分かりやすく書いていること。
- ウ 疑問に思ったことを、くわしく調べて書いていること。
- エ 終わりのあいさつを書いていること。

2 つよしさんは、下書きの⑦の一文が長すぎるため、①の中に二文に分けて書き直すことにしました。
 どのように書くかといですか。一文ずつ の中に書きましょう。

①

②

3 つよしさんは、山田さんをしようたいする手紙を、はがきに書いて送ります。次のア～エの中に入るふさわしいものを、下の1～4の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を書きましょう。



- 1 自分の名前
- 2 相手の名前
- 3 自分の住所
- 4 相手の住所

ア	
イ	
ウ	
エ	

これで問題は終わりです。